

ザ玉中魂

私たちが受け継ぐ真の「伝統」 そのプライドこそが「ザ」玉中魂
～正当な伝承者として、いつまでも残る航跡を残そう～

甲斐市立玉幡中学校3年1組 学級通信 12号

平成30年4月24日

文責 片山 敬太

本当は自由って難しい



時々、思うことがあります。「自由」とか「普通」とかって、難しいなど。

「自由」を勘違いすると、ただの好き勝手になってしまいます。世間では、公共の福祉に反する行為になってしまうことがしばしば。しかし、迷惑を掛けないようにしようと考えると何もしなくなる人がいます。「色々と言われるから面倒臭い」との論理です。でも、僕からしてみるとこれも間違いです。

では、どのようにすれば良いのか。

【夢の叶え方⑤】早い判断よりも良い判断を心掛ける
のです。

咄嗟に面白そうだと思って「言ってしまう」「やってしまう」ではなく、ちょっと立ち止まって考えることが必要なのだと思っています。

京都で過ごす2日目は、まさに「自由時間」です。京都自主見学を成功させられるかは、班別に行動したみんなの意識に掛かっていました。

私は上賀茂神社と金閣寺にチェックへ行きましたが、どの班のメンバーも良い判断をしてしっかりと行動していました。しっかりと行動ができていると私が感じられたのは、時間管理の意識と目的意識をもって行動している姿に出会えたからです。

ルールを守ろうとする意識も集団への帰属意識の表れであったり、社会生活を営もうとしている者の善意が形になってきたりしている瞬間だと好意的に受け止めました。



前後しましたが、自主見学出発の朝のことです。支度の早かった男子が、早目に朝食会場へ下りてきて準備を手伝ってくれました。まだ会場に姿を見せていなかった女子の方まで、男子が配膳を済ませてくれたのです。自然と仲間のことを支えられる姿、とても良かったです。

そして、夕食後は青蓮院での座禅体験です。

ここにも【夢の叶え方⑥】がありました。大切な五つの心です。折に触れ、思い出しましょう。そして、最澄さんの思いに寄り添って「よき心の灯で」一隅を照らせるような生き方をしたいですね。

